

京都スタジアムを核とした まちづくりについて

亀岡市まちづくり推進部

JR亀岡駅周辺のまちづくり

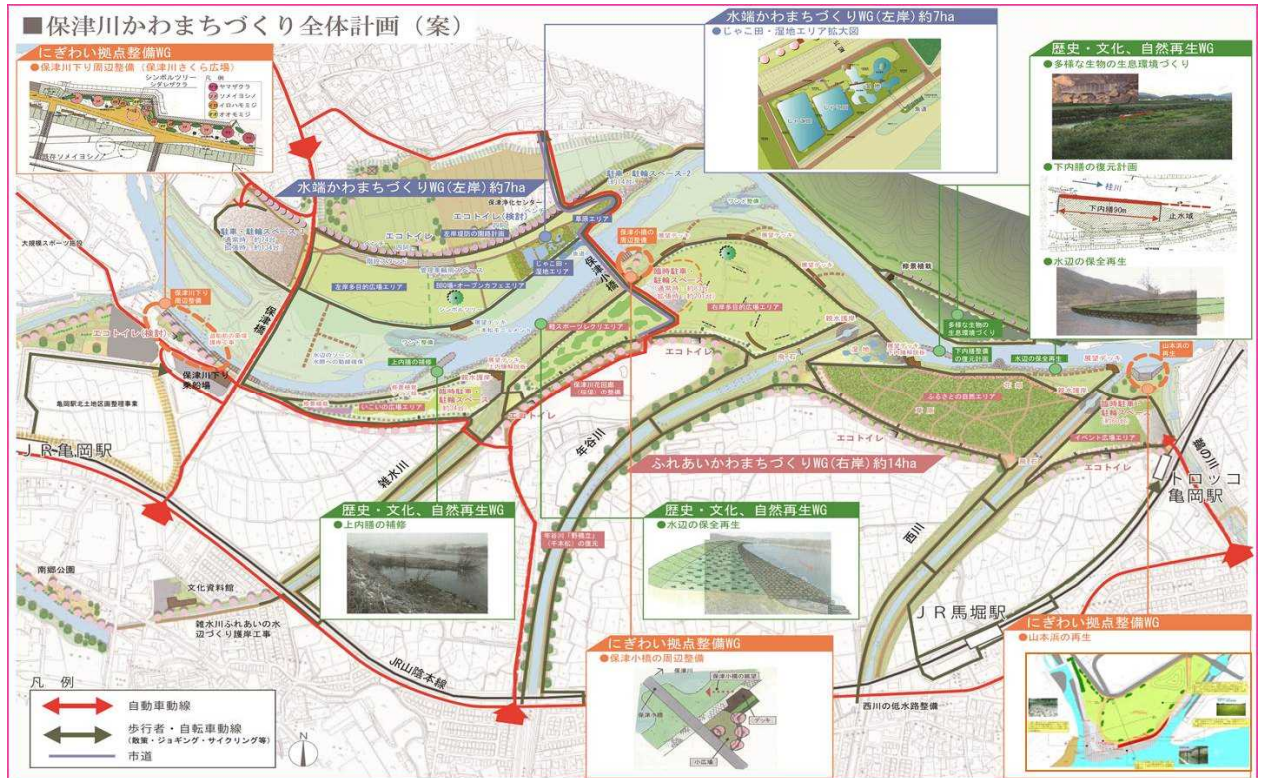
- 亀岡駅北地区（整備中または計画中）
 - 土地区画整理事業
 - 保津川かわまちづくり計画
 - 京都・亀岡保津川公園
- 亀岡駅南地区（既成市街地）
 - 駅前商業地区
 - 城下町地区



保津川かわまちづくり計画

計画策定 平成23年3月

- ・保津川下り乗船場付近からトロッコ亀岡駅付近までの区間
- ・河川改修により生まれた広大な高水敷の活用
- ・保津川かわまちづくり推進協議会(平成23年9月設立)の中に5つのWGを設け具体的な計画等を検討いただいている



● 整備内容

遊歩道

多目的広場

花畑

親水護岸

年谷川沿い「野橋立(千本松)」の復元

桜堤

※トロッコ列車での入込客数 約120万人

※保津川下り入込客数 約22万人

亀岡駅北区画整理事業

- 事業面積17.1ha(駅北側15.1ha 駅西側2.0ha)
- 事業期間 平成26年度から平成31年度

商業ゾーン

住宅ゾーン

京都スタジアム(仮称)

公園

※ 駅から北へ向かって幅員78m道路

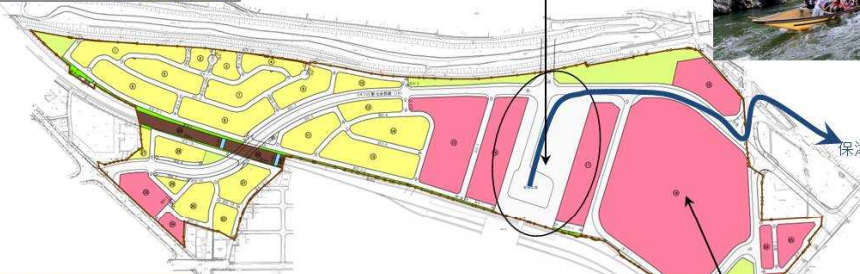


(都) 亀岡駅北線南北区間



保津川下り・トロッコ列車

保津川下り乗船場



住宅ゾーンイメージ



京都スタジアム(仮称)

京都・亀岡保津川公園

- 都市計画公園(平成26年5月都市計画決定)
- 面積 13.9ha

京都スタジアム(仮称)の建設と、アユモドキ保全のための共生ゾーン(サンクチュアリ)を計画していた

京都スタジアム(仮称)の建設場所が区画整理事業地に変更となったため、公園計画の見直しを現在検討中

スタジアムを核としたまちづくり

- 区画整理事業により新たにできる街、その中にできる京都スタジアム(仮称)、河川改修により生み出された広大な河川空間を利用した保津川かわまちづくり計画、天然記念物アユモドキとの共生を目指す京都・亀岡保津川公園
- この地域に存する、亀岡市を代表する観光資源保津川下り、トロッコ列車

- 他にも、湯の花温泉、出雲神社をはじめとする寺社、自然景観や、豊富な農産物、生活から生まれる文化などの資源
- 京都駅からJRで20分程度、多くの観光客で賑わう嵯峨嵐山駅へは10分程度、京阪神都市圏に隣接する好立地
- 今回の京都スタジアム(仮称)の建設は亀岡市にとって大きなインパクト これを機に、新しくできる資源、従来からある資源の連携、活用による賑わいまちづくりにつなげていきたい